

■出演者プロフィール



©Fabio Parenzan

指揮：園田隆一郎 Ryuichiro Sonoda, *Conductor*

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシェニ・オペラ・フェスティバル「ランスへの旅」を指揮。その後、国内外のオペラ、シンフォニーの両分野で活躍する指揮者のひとり。2024年は、新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室「トスカ」、藤沢市民オペラ「魔笛」などのオペラ公演やパシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会をはじめオーケストラ演奏会への出演が予定されている。2017年第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞の各賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



©FUKAYA / auraY2

ソプラノ：木下美穂子 Mihoko Kinoshita, *Soprano*

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。日本音楽コンクール第1位、日伊音楽コンクール第1位等を同一年度で受賞。他にもリチャード・アルバネーゼ・プッチーニ国際音楽コンクール第1位など数々の栄誉に輝く。オペラでは、小澤征爾指揮「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラでデビュー以降、二期会「椿姫」「トスカ」「蝶々夫人」各タイトルロール、「ドン・カルロ」エリザベッタ、新国立劇場「ホフマン物語」アントニア、グランドオペラ共同制作「トゥーランドット」リュウなど、常に主要役にて出演。国外でもヴェルディ「レクイエム」でアメリカデビューし、ミシガンオペラ、ヒューストングランドオペラ、ロンドン・ロイヤルアルバートホール、ピサ・ヴェルディ劇場での「蝶々夫人」などに出演し、絶賛されている。東京藝術大学音楽学部准教授。二期会会員。



©Takafumi Ueno

テノール：笛田博昭 Hiroaki Fueda, *Tenor*

名古屋芸術大学音楽学部音楽科首席卒業。同大学院修了。第9回マダム・バタフライ世界コンクール及び第50回日伊音楽コンクール第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位、その際にフェッラーラ歌劇場にて「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ役でイタリアデビューを果たす。イタリアの輝きをもつ豊かでドラマティックな声と、日本人離れしたスタイリッシュな歌唱フォームは比類なく、日本屈指のプリモテノールとしての地位は揺るぎない。2023年6月、パレルモ・マッシモ歌劇場の引越し公演では急遽代役として「ラ・ボエーム」のロドルフォ役で出演し、圧倒的な歌唱で鳴り止まぬ大喝采を浴びた。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。

■オーケストラ・プロフィール

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra



【創設】 1970年、神奈川県内の音楽家が集まり「ロリエ管弦楽団」として発足。翌年から現在の名称に。
【指揮者】 沼尻竜典(音楽監督)、小泉和裕(特別客演指揮者)、現田茂夫(名誉指揮者)、
團 伊玖磨(桂冠芸術顧問・故人)、山田一雄(桂冠指揮者・故人)
【ホーム・コンサート・ホール】 横浜みなとみらいホール、神奈川県民ホール、神奈川県立音楽堂
【楽団ウェブサイト】 <https://www.kanaphil.or.jp/>

サマーミュージア特設サイト [こちらからご覧ください。](https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/)
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

アンケート [ご協力をお願いいたします。](https://gws-net.com/summernuza2024)
<https://gws-net.com/summernuza2024>

●アンコール曲 ●ほぼ日刊サマーミュージア ●パートナーショップ特典

ほぼ日刊サマーミュージアに感想が載るかも?!

ミュージア川崎シンフォニーホール ホールスポンサー		ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は、ホールスポンサーの皆様によって支えられています。	
法人 【特別賛助会員】 川崎幸病院 川崎信用金庫 川崎フロンターレ キャンオン株式会社 サントリーホールディングス株式会社 ジェクト株式会社 三井不動産グループ	川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 株式会社きんでん ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社 株式会社東芝	個人 阿部孝夫 新井智彦 市橋信一郎 井上敏昭 宇佐美清一 遠藤智和 大越麻美子 大塚興幸 岡垣克則 小笠原 将 岡田 元 岡野 功 小倉ヒロ・ミハエル 小野洋彰 金山直樹 喜多純一	木伏源太 久住映子 黒川裕子 小菅みつほ 後藤 実 小林知子 佐伯 昇 佐藤晴茂 杉山弘子 鈴木甚郎 鈴木 徹 関口 浩・三代子 高井延幸 高橋美子 竹内啓介 都築 豊 中村紀美子 西 洋子
		他1法人	他匿名16名 敬称略五十音順

(2024年6月10日現在)

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

20
YEARS
MUSICAL HERITAGE
SYMPHONY HALL

川崎市市制100周年記念事業
ミュージア川崎シンフォニーホール開館20周年記念公演

川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

フェスタサマーミュージア KAWASAKI 2024

ミュージア川崎シンフォニーホール

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

Kanagawa Philharmonic Orchestra

團 伊玖磨&プッチーニ 100周年オペラ・ガラ

8/8 木

■プレトーク
14:20~14:40
話=園田隆一郎
※本公演と同じお席で
お楽しみください。

■開演
15:00

■終演予定
17:00

出演

指揮：園田隆一郎 Ryuichiro Sonoda, *Conductor*
ソプラノ：木下美穂子[♥] Mihoko Kinoshita, *Soprano*
テノール：笛田博昭[▲] Hiroaki Fueda, *Tenor*
コンサートマスター：石田泰尚 Yasunao Ishida, *Concertmaster*

曲目

〈團 伊玖磨(1924~2001)生誕100年〉 Ikuma Dan the 100th anniversary

- 新・祝典行進曲(管弦楽版) [10分]
Grand March "The Royal Wedding" (arr. for orchestra)
- 歌劇『夕鶴』から「与ひょう、あたしの大事な与ひょう」[♥] [6分]
'Yohyo, my precious, Yohyo' from Opera "Yuzuru"
- 管弦楽組曲『シルクロード』 [24分]
Orchestral Suite "The Silk Road"
I. 綺想の前奏曲 II. 牧歌 III. 舞踏 IV. 行進
—休憩(20分)—

〈ジャコモ・プッチーニ(1858~1924)没後100年〉 Giacomo Puccini the 100th memorial

- 歌劇『ラ・ボエーム』から
「冷たい手を」[▲]「私の名はミミ」[♥]「おお、優しい少女よ」(二重唱)^{♥▲} [12分]
'Che gelida manina', 'Mi chiamano Mimi', 'O soave fanciulla' from Opera "La Bohème"
- 歌劇『トスカ』から「歌に生き、愛に生き」[♥]「星は光りぬ」[▲] [7分]
'Vissi d'arte, vissi d'amore', 'E lucevan le stelle' from Opera "Tosca"
- 歌劇『蝶々夫人』から 第2幕第2場への間奏曲(朝の場面) [6分]
Intermezzo from Opera "Madama Butterfly", Act II, Scene II
- 歌劇『蝶々夫人』から「ある晴れた日に」[♥]「さらば愛しの家」[▲] [7分]
'Un bel dì, vedremo', 'Addio, fiorito asil' from Opera "Madama Butterfly"
- 歌劇『トゥーランドット』から「皇帝の入場の音楽」 [3分]
'Entrance of the Emperor' from Opera "Turandot"
- 歌劇『トゥーランドット』から「氷に包まれたあなたも」[♥]「誰も寝てはならぬ」[▲] [7分]
'Tu che di gel sei cinta', 'Nessun dorma' from Opera "Turandot"

※演奏時間は目安です。
※出演者・公演内容につきましては変更が生じる場合がございます。

皆様にご覧いただくために、ご協力をお願いいたします。 館内では咳エチケット、適切な手指消毒を推奨しております。

- 開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。
- 演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。
- 時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。
- 許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします。(カーテンコール時を除く)
- ハウリングの発生を防ぐため、補聴器などが正しく装着されているかご確認ください。
- 演奏中に音が出ないように十分ご注意ください。(鈴のついたお手荷物・館の包みを開ける際の音など)
- 演奏中の会話はお控えください。ブラボーなどの声援をされるお客様は、マスク着用を推奨いたします。
- 曲が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。
- 客席内での飲食はご遠慮ください。

終演後のカーテンコールの撮影が可能です。 撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただけますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。 ※撮影前にフラッシュ設定が「オフ」になっているかご確認ください。 ※目線より高い位置での撮影や、スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。 ※SNSなどに投稿する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

主催：川崎市、ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



アニバーサリーを迎えた日伊の巨人の 心に染み入る美と香りを味わい尽くす

芸術と教養の巨人 團伊玖磨を凝縮して味わう

新・祝典行進曲(管弦楽版)

皇太子徳仁殿下（現・今上天皇）のご成婚時に作曲され、1993年の結婚の儀のパレードで演奏された。2019年の即位に伴う祝賀御列の儀でも、車列のパレードを彩った。團は1959年、皇太子明仁親王（現・上皇）のご成婚時にも「祝典行進曲」を書いたが、馬車のパレードだった当時より都市の音が増したので、力強く書いたという。また、男性的華麗さと女性的優美さを対比させたという。元来は吹奏楽編成だが、團自身が管弦楽編曲した版が演奏される。

歌劇『夕鶴』から「与ひょう、あたしの大事な与ひょう」

木下順二の戯曲に作曲され、日本オペラの最高傑作と讃えられる『夕鶴』。1952年の初演以来、900回近く上演されている。与ひょうの妻つうは素敵な織物を織ったが、鶴の化身であるつうが自分の羽を抜いて織り込んでいたのだった。正体を見られたつうは傷ついた姿で空へ帰る。團の音楽は常に流麗で、日本語の抑揚を損なわない。織物が高く売れてよるこぶと与ひょうに不安を覚えたつうがこのアリアを歌う。

管弦楽組曲『シルクロード』

1955年、團が芥川也寸志、黛敏郎と結成した「3人の会」の演奏会で、團自身の指揮で初演された。シルクロード沿いの国々の音階も用いた音楽紀行で、「綺想的前奏曲」「牧歌」「舞蹈」「行進」の4曲からなる。現代音楽に新規性ばかりが求められた時代に、新旧を超越した技法やスタイルが示されたことに価値がある。

ヒロインの死に涙がこらえられない3つの愛の物語

歌劇『ラ・ボエーム』から「冷たい手を」「私の名はミミ」「おお、優しい少女よ」

プッチーニは劇的な展開と、イタリア・オペラの伝統を踏まえた美しい旋律が魅力だが、それを支えるのは豊かで先進的なオーケストレーションだった。

パリの屋根裏で暮らす若い芸術家の青春を描いた『ラ・ボエーム』（1896年初演）。詩人ロドルフォはお針子ミミと同棲するが、ミミは肺病で命を落とす。

第1幕、蠟燭の火をもらいにミミがロドルフォの部屋を訪れて2人は出会う。ミミが落とした鍵をロドルフォは見つけながら隠し、彼女の手をとって情熱的に自己紹介。「詩のおかげで心が豊かだ」と甘美に歌い、高いドを響かせる（「冷たい手を」）。続いてミミが「一人で暮らし、屋根や空を眺めています」と身上をつつましく語り、後半はのびやかに歌う（「私の名はミミ」）。その後、2人は愛の二重唱を歌いながら外出する。「冷たい手を」の旋律で2人の声は重なり、熱くからむ（「おお、優しい少女よ」）。

歌劇『トスカ』から「歌に生き、愛に生き」「星は光りぬ」

1800年のローマが舞台の『トスカ』（1900年初演）。歌姫トスカに邪心をいさぐ警視總監スカルピアは、彼女の恋人カヴァラドッシを拷問し、彼の命と交換にトスカの肉体を要求する。主要人物がみな非業の死を遂げるが、音楽は濃密で美しい。

第2幕、上記の要求をされたトスカは、「隣人愛に尽くしてきた私を、なぜこんな目に遭わせるのか」と神に訴える（「歌に生き、愛に生き」）。続く第3幕、処刑を前にカヴァラドッシはトスカを思い浮かべ、「僕の愛は永遠に消えた」と未練たっぷり歌う（「星は光りぬ」）。

歌劇『蝶々夫人』から「第2幕第2場への間奏曲(朝の場面)」「ある晴れた日に」「さらば愛しの家」

19世紀末の長崎が舞台の『蝶々夫人』（1904年初演）。蝶々さんはアメリカの海軍中尉ピンカートンの現地妻になり、男児を産んで「夫」の帰りを待ったが、戻った「夫」は米国人の妻を連れていた。

第2幕第1場、「夫」の帰りを信じる蝶々さんに、女中スズキは涙を隠せない。蝶々さんはそんな彼女を戒め、「夫」が帰る日を夢想し、「私は信じて待つ」と確信的に歌う（「ある晴れた日に」）。その前に、第2幕第1場と第2場のあいだに置かれ、船が着いた「夫」の帰りを待って落ち着かない蝶々さんの心中を表した間奏曲も演奏する。第2場、蝶々さんの就寝中に現れた「夫」は、スズキからこれまでの経緯を聞いて後悔し、「愛の家の面影を責め苦とともに思い出すだろう」と歌う（「さらば愛しの家」）。

プッチーニが死ぬまで書き続けた最高傑作

歌劇『トゥーランドット』から「皇帝の入場の音楽」「氷に包まれたあなたも」「誰も寝てはならぬ」

古代の北京が舞台の『トゥーランドット』。完成前にプッチーニは急逝し、フランコ・アルファーノが補作した（1926年初演）。トゥーランドット姫は3つの謎を解けない求婚者を斬首していたが、タタールの王子カラフ（姫は彼の名を知らない）は解く。王子が「夜明けまでに私の名がわからなければ結婚を」と条件を出すので、姫は名がわかるまで「誰も寝てはならぬ」と命じる。

第2幕第1場から第2場に転換し、皇帝アルトゥムが登場する際の音楽をまず演奏。第3幕、王子の名を知る女奴隷リュウは拷問されても口を割らず、その強さの根拠は「愛だ」と痛ましくも美しく歌う（「氷に包まれたあなたも」）。その前の場面で、姫の命を伝える声を聞いたカラフは「夜明けになれば私が勝つ」と歌い上げ、高いシの音を響かせる（「誰も寝てはならぬ」）。

column

前衛より地域性にこだわった團伊玖磨の先進性

團伊玖磨を特徴づけるオペラとオーケストラ作品には馴染みがない人でも、團の作品には親しんでいるに違いない。童謡「ぞうさん」や「ラジオ体操第2」の名を挙げれば十分だろう。

團を見出したのは山田耕柞だった。1938年、作曲に夢中な14歳の伊玖磨少年を、父は旧知の山田のもとに連れていったという。音楽の道を諦めさせてもらうためだったが、逆に山田は「作曲をやらせましよう」と断言し、進むべき道が定まった。

東京音楽学校では芥川也寸志と意気投合したが、1945年4月には2人とも、陸軍戸山学校軍楽隊作曲係上等兵になり、作曲室に配属。そこで多くの吹奏楽を編曲し、管弦楽のあつかいが巧みになったという。1953年には、2人に黛敏郎も加わった戦後日本を代表する作曲家による「3人の会」が結成された。だが、ほかの2人は前衛に向かうことも多かったのに対し、團は伝統や地域性、民族性に一貫してこだわった。

そうした特徴はすでに1952年のオペラ『夕鶴』に表れ、その後も、美しい叙情性や緻密で色彩的な管弦楽法をとおして、前衛と一線を画す独自の現代音楽にこだわり続けた。その後のオペラが『聴耳頭巾』（1955年初演）、『ちゃんちき』（1975年初演）、『建・TAKERU』（1997年初演）など、民族的な題材から離れなかったのが象徴的である。

また、祖父で実業家だった團琢磨の故郷のために書いた、混声合唱組曲『筑後川』（1968年初演）や合唱と管弦楽による『西海讃歌』（1969年初演）も、九州の自然を思わせ、グローバリズムからは遠く隔たる。

グローバリゼーションの限界が指摘される現在、地域に宿る文化を見据え、それをあたらしい芸術の土台にした團こそ、再評価されるべき作曲家である。

（香原斗志）